



2010～11 年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

Weekly Report Niigata



2010～11 年度
新潟ロータリー会長

樋熊紀雄

新潟 RC 12 月第 2 例会 (2010.12.14) No.2877

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 下岡 正八次年度会長エレクト挨拶

大切な総会に欠席し申し訳ありませんでした。平成 22 年 12 月 7 日に総会が開催されることは知っていました。実は、12 月 7 日は、母の命日で東京八王子に墓参りに行く予定でいました。その後岡山大学歯学部から非常勤講師として 12 月 7 日当日最終の講義にくるよういわれ岡山に行きました。

平成 22 年 10 月 19 日例会終了後に樋熊会長より次次期の会長を引き受けるようにと電話をいただき、女房と相談させてほしいと言って、返事を保留しました。その日の内に樋熊会長より明日の夜、H. オークラで話をしたいという呼び出しで、ホテルに行くと樋熊会長、石川幹事、小山さんと 2560 地区ガバナーエレクトの石本さんが待っていて、早速、応援するから会長になるようにという強い誘いを受け、女房は丁重にお断りするようにとっていました。徳山年度の幹事だった私は当時白山様の小林さんのところに会長になって下さいとお願いに行き、先輩より受けた RC に NO はないなどと言って無理矢理承諾をいただいた経緯を思い出してお引き受けいたしました次第です。遅くとも 2 年以内に東京へ戻る予定をしていましたが、帰ることが出来なくなりました。

私は日本歯科大学新潟生命歯学部が開設した昭和 47 年 5 月に初めて新潟にまいりその年の 10 月新潟に赴任いたし、40 年になろうとしています。すでに私の一生涯で最も長く住んだ街が新潟市です。

このような時代にロータリーを盛り上げていくことは大変なことと思いますが、私を育てて下さいました新潟 RC に少しでも恩返しが出来ればと思います。一人で出来ることではないこと充分承知しております。まだ一年半ほどあります。じっくりと考え準備させていただきます。皆様の絶大なる御支援と御協力をいただきますようによろしくお願い申し上げます。

(3) 樋熊 紀雄会長挨拶

ポール・ハリスの言葉—「他の団体と功を争うな」—

It is manifest that Rotary could not hope to complete successfully with the commercial clubs nor with charitable organization in their respective fields.

It may also be freely admitted that Rotary falls far short of doing all that it might do within the limits of its objects.

商業営利的クラブや慈善事業団体がそれぞれの目的としている分野に於いて、ロータリーがこれと功を争おうなどとするのではないことは明らかだ。ロータリーはその目的とする範囲でのことをすればいいのであって、それ以上の何ごとにせよ力及ばずとも一向差しつかない。

ポール・ハリスによれば、ロータリーの目的としている所は、人種、言語、国境を越えた友愛=friendship=である。ロータリーの目的を奉仕として捉えるのが今日一般通念となっているが、奉仕の根底にあるものはやはり友愛ではないだろうか。最初仲間同士での友愛で出発したロータリーが、友愛の対象を広く社会一般に広げて行なった時、そこに奉仕—Service above Self—が生まれたのである。対価を求めない奉仕という行為なくして真の友愛が生まれるわけがないのではないか。そこで終始一貫ロータリーにとっては親睦ということがクラブの骨格をなしている。その骨格に「奉仕」という肉をつけ、これを活動させる為に「情報」という血を通わせているのがロータリー・クラブなのではなからうか。

だからロータリーは職業人の集まりではあるけれども、商工会議所や各種の同業者団体とも違うし、奉仕を目指して結集した団体であっても、また他の慈善事業団体とも明らかに違うのである。今日でも心ある人が繰り返し「ロータリーは寄付団体ではない」と警告しているのはその意味で誠に重要なことなのである。ところが人間は、何事につけつい眼に見える形だけで価値判断をしがちである。勲一等は勲五等より偉いと考えるのだ。

慈善事業の規模、寄付の額でロータリーを評価してはならない。他の団体とそんなことで功を争うべきものでないことは言うまでもない。同様に、各クラブの間でも、今日では何か表に現れた数字だけで競争しあっている嫌いがあるのではなからうか。心すべき問題である。

この言葉はロータリーを離れて、人生の生き方という点から言っても、大事な教訓であろう。自分は、自分の人生をどう生きようとしているのか・・・人生において一番大事のものは何なのか、土性骨をすえて自分の人生を見極め、堂々と自分の道を行けばいいのである。つまらぬ事を他人と比較して劣等感を持つなど愚の骨頂だ。

佐藤千寿氏「ポール・ハリスの言葉」より

(4) 委員会報告

・金親 顯男RA委員長

新潟ローターアクトが「つながり 地域と過去と、そして未来と」をテーマに創立40周年記念式典をイタリア軒にて開催致します。ご案内を郵送します。是非、ご出席ください。

開催日時 平成23年2月19日(土)

15:30 ~ 16:00 受付

16:00 ~ 17:00 記念式典

17:30 ~ 記念祝賀会

(5) 幹事報告(石川 治彦幹事)

年度当初にお配り致しました年間スケジュールでは、毎年恒例の旧新潟市内7RC合同例会は2月25日に予定されていましたが、ロータリーの創立記念日であります2月23日に開催されることに決定致しました。今年は、特例として豊栄、新津、新津中央、白根、巻、の新潟市内のロータリークラブと佐渡、佐渡南ロータリークラブの会長幹事、会長幹事エレクトと第一・第二・第三・第四分区のアシスタントガバナーをゲストとしてお迎えし実施致します。後日、ご案内を郵送致しますのでよろしくお願い致します。

(6) 家族月間に因むお話

副会長 小山 楠夫 君

12月21日の例会予定

会員スピーチ

「海・山・大地のために ~私たちのCSR活動~」

農林中央金庫新潟推進室室長 高山 景君

ホームページを更新致しました!

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>